

市第2号議案 令和2年度横浜市一般会計補正予算(第1号)(関係部分)

国の補正を踏まえた増額補正

市立学校におけるICT環境整備事業(教育用コンピュータ整備事業(小・中・特支)) 10,120,000 千円

(単位:千円)

事業名	5月補正前 現計予算	補正額	補正額				5月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
小学校教育用コンピュータ 整備事業	2,424,299	6,999,000	6,999,000			-	9,423,299
中学校教育用コンピュータ 整備事業	993,951	3,054,000	3,054,000			-	4,047,951
特別支援学校教育用 コンピュータ整備事業	34,508	67,000	67,000			-	101,508
合計	3,452,758	10,120,000	10,120,000	-	-	-	13,572,758

(内容)

学校休業時における子供たちの教育環境の充実と感染症の拡大防止のため、当初、令和5年までとしていた「1人1台端末」を実現する計画を今年度中に前倒して、必要となるタブレット型PCを購入します。また、Wi-Fi環境が整っていない低所得の家庭向けにモバイルルータを貸与するとともに利用料を負担します。

ICT環境の整備後、Society5.0を見据え、情報の収集・加工・発信といった力を伸ばし、新たな社会の担い手となるための資質・能力を育成するため、デジタル教科書やデジタル教材を活用するとともに、非常時には児童生徒に端末を貸し出した上で、双方向のオンライン授業ができるように検討を進めていきます。

- ・児童生徒「1人1台端末」の整備:215,885台  
(小:139,739台 中:59,593台 特支:250台 教員:16,303台)
- ※小1～4、中2～3の全児童生徒分(小5・6、中1の児童生徒分は令和元年度2月補正で実施)
- ・モバイルルータの貸与・利用料:4,067台(小2,523台、中1,533台、特支11台)
- ・入出力支援装置の整備:18台(特支)

(国の補正予算)

GIGAスクール構想の加速による学びの保障

○「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用によりすべての子供たちの学びを保障できる環境を早急を実現

(1)「1人1台端末」の早期実現

- 一 令和5年度に達成するとされている端末整備の前倒しを支援

(2)家庭学習のための通信機器整備支援

- 一 Wi-Fi環境が整っていない低所得の家庭に対する貸与等を目的として自治体が行う、LTE通信環境(モバイルルータ)の整備を支援

(3)障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備

- 一 視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒が、端末の使用にあたって必要となる障害に対応した入出力支援装置の整備を支援

学校施設における感染症対策事業(学校環境整備費)

112,000 千円

(単位:千円)

事業名	5月補正前 現計予算	補正額					5月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
学校施設における感染症 対策事業(学校環境整備費)	2,183	112,000	56,000			56,000	114,183

(内容)

学校施設内での感染症防止対策として、教職員や必要に応じて児童生徒等に配付するマスク、消毒液、児童生徒の健康観察用に非接触型体温計等を購入します。

- ・マスクの購入:195万枚(小・中・高・特支:110万枚、教職員等:85万枚)
- ※ 各家庭から持参するマスクや国から1人2枚配付される布マスクの活用を前提とし、今回購入する児童生徒用は、給食当番や行事等の際に持参しなかった児童生徒に配付
- ・消毒液 1ℓ 5,500本(各校:10本)
- ・消毒液 500mℓ 1,145本(特支職員)
- ・消毒綿 430箱(医療的ケア児童分)
- ・使い捨て手袋 2,445箱(各校:4箱)
- ・使い捨てエプロン 550箱(各校:1箱)
- ・非接触型体温計 600本(小・中・高:各1本、特支:4本)

(国の補正予算)

学校における感染症対策

○マスク、消毒液、非接触型体温計等の保健衛生用品を購入する学校設置者を支援

学校給食物資補償事業

206,019 千円

(単位:千円)

事業名	5月補正前 現計予算	補正額					5月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
学校給食物資補償事業	-	206,019	154,514			51,505	206,019

(内容)

市立小学校の全校一斉臨時休業により発生した給食中止(令和2年3月分)に伴い、キャンセル費用や違約金等が発生したため、給食食材納入業者へ補償金を支払います。

- ・対象者:給食食材納入業者
- ・対象期間:令和2年3月3日~17日

(国の補正予算)

学校給食の休止への対応

○食材のキャンセル費等により学校設置者の負担となる費用を支援

OICT環境整備計画(予定)

	R2	R3						R4				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
端末	OS検討							調達				
校内LAN		契約手続き							整備			
校外接続			契約手続き						構築			
										納品		
											試行	

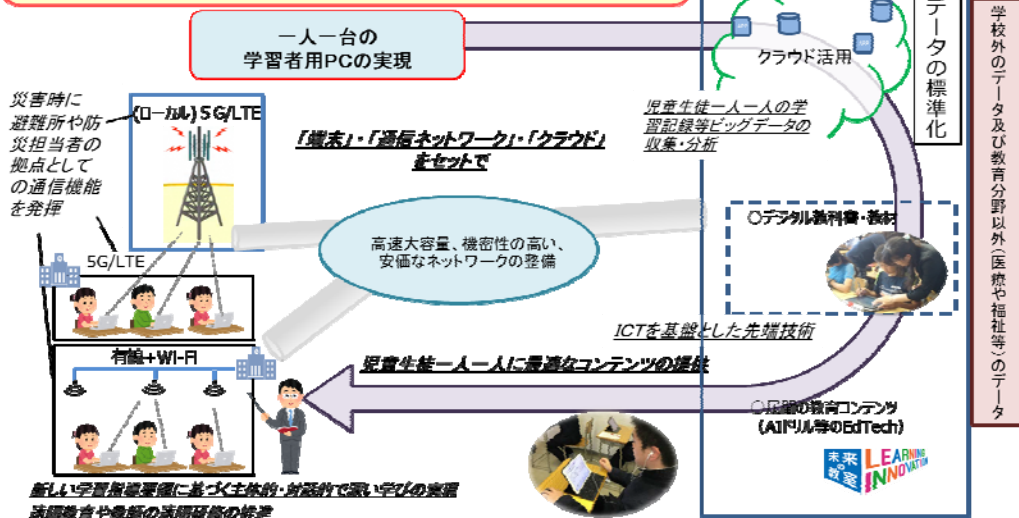
○整備後の活用方法(文部科学省説明資料より抜粋)

子供たち1人1人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境を

～令和時代のスタンダードとして学校ICT環境を価値し、公正に個別最適化された学びの場の実現へ～

目指すべき次世代の学校・教育現場

- ✓ 学びにおける時間・距離などの制約を取り払う～遠隔・オンライン教育の実施～
- ✓ 個別に最適で効果的な学びや支援～個々の子供の状況を多面的・継続的に把握・共有～
- ✓ プロジェクト型学習を通じて創造性を育む～文理分析の融合とPBLによるSTEAM教育の実現～
- ✓ 校務の効率化～学校における事務を迅速かつ便利、効率的に～
- ✓ 学びの知見の共有や生成～教師の経験知と科学的視点のベストプラクティス(EBPM)の伝達～



新しい学習指導要領に基づき主体的・対話的で深い学びの実現  
遠隔教育や教師の遠隔研修の推進

環境整備イメージ

